



◆ ねらい（解決したい地域課題）

地域に小学生が自然体験学習のできる機会が少ないため、公民館の立ち位置から「岡山っ子育成条例（岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例）」を踏まえ、小学生を公民館ボランティアとして公民館デビューさせる機会を創出し、後に地域のミドルリーダーとして活躍できる地域づくりに繋げる。

今年度は当館に隣接する菜園跡地を借用し、小学生が公民館ボランティア（隊員）として農業体験学習に取り組める仕掛け作りを展開し、隊員は活動を通して公民館を身近なものとして捉えられるようにする。また、地域の方とのコミュニケーション力やボランティア活動の本質を体験から学び、自身が地域から認められ求められることで個々の自尊感情の向上を図りたい。併せて、一連の活動から隊員、地域住民、公民館がWIN・WINの関係を構築し、隊員の中から地域のミドルリーダーが育つよう次段階に繋げたい。

◆ 活動の様子

活動の様子は「岡山市立東山公民館の Facebook」に配信中！



鍬を持つのも畝を作るのも初めて。ちゃんと育つか？



活動の最後は必ず振り返りタイム。学びや気付きを記録して次の活動に生かします。



「わき芽かき」や上に伸びる野菜には何が必要なのか、沢山の学びがあったよ。



収穫した野菜を全隊員に分配するのに、割り算のできる中・高学年隊員が大活躍！



秋野菜について別称「東山菜園を耕志隊こうしたい」が協議中。



色々な苦難を乗り越えて、隊員たちは大きなスイカを13個も収穫でき大喜びです。



夏野菜での体験を生かして秋野菜の栽培に挑戦する隊員たち。



秋野菜作りに向けて土壌改良。苦土石灰、堆肥、そして畝作り。手順はバッチリ！

◆ 効果（① 隊員の声、② 隊員の保護者の声、③ 隊員の指導者の声、④ 地域住民の声）

- ① 隊員の声
 - ・土を耕して畝を作り、わき芽を取ったり草取りをしたりして野菜ができたときは嬉しかった。
 - ・うまく育たなかった野菜もあって、野菜を育てて食べられることは大変なことなんだと思った。
 - ・公民館へ行くと学校ではできない体験ができたり大人の人と話せたりして、とても楽しいです。
- ② 隊員の保護者の声
 - ・植え付けから収穫まで子どもたちに考えさせて行動させていただいたので、主体的に取り組めた。
 - ・今まで食べられなかった野菜を自身で作ることで食べられるようになりました。これぞ食育。
 - ・活動のやりっ放しでなく、毎回必ず振り返りの機会をもつことで学びの成果を次に繋がられた。
- ③ 隊員の指導者の声
 - ・家庭菜園程度の技量しか持ち合わせていない私ですが、隊員たちのお役に立てて嬉しいです。
 - ・教える内容を最小限とし、失敗できる機会をしっかりと保障することでのびのび活動してくれた。
 - ・作物はもとより隊員の成長もしっかり見ることができ、ボランティアとしての喜びを感じた。
- ④ 地域住民の声
 - ・地域の教育力が衰退する中、公民館が年間を通してこのような活動をしていることに驚いた。
 - ・子供たちの活動の様子を聞き、私も活動に加わりたくなりました。芋掘り楽しかったです。

公民館職員も学びの連続でした！

南区特産品アイデア料理を作ろう！

地域の特産品を美味しくいただく！

○岡山市南区の広大な干拓農地で生み出される「千両なす」「たまねぎ」「レタス」「れんこん」などの高品質を誇る特産品を使った「レシピ集」が、岡山県立興陽高校の協力のもと作成されました。

灘崎地域では、地元の野菜を使って、誰もが簡単に作ることができ、温かみを感じるこの「レシピ」を使って料理を作ることになりました。

○講師を務めるのは、地域にある「栄養改善協議会」のみなさんです。参加者と一緒に調理をすることで、地域の特産品の良さを知り、お互いの親睦を図ります。



煮物、揚げ物、炒め物、すべてフライパンでの調理！やっぱり高校生の調理の仕方は私達とは違いました！ビックリ！（参加者より）

初日は、美作大学実習生とともに調理を行いました。学生の巧みな包丁さばきに、参加者一同感心しました。

どんな料理になるかな？
高校生が考えた料理ってどんな感じになるか楽しみ♪



とっても楽しかった。新しいレシピは我が家の定番にしたい。（参加者より）



○漬けたなすの
どんぶり

○たまねぎともやしのツナマヨ春巻き

○レンコンと鶏肉とサツマイモの味噌バター焼

こうして人が集うことが、地域の力になる。コロナで忘れていたパワーを思い出しました。

地元の良さをこれからも発掘して、次の世代に残していきたい。

（栄養改善協議会の方から）

「食」をテーマに新たな挑戦を！

○コロナ禍で、「栄養改善協議会」の活動も思うようにできなくなっていました、このレシピをきっかけに活動を復活させることができ、参加者との交流も生まれました。

○高校生が考えたレシピは、これまでの調理の仕方と調理器具の使い方や素材の使い方について新たな発見が多く、今後の活動にも大いに参考になりました。

○栄養改善協議会の方とのちょっとした会話から生まれた企画。職員からの投げかけで始まりましたが、その後、レシピの塩分量やカロリー計算、献立の組み方等、協議会の方々のご尽力があつての講座の実現になりました。今後は、「残していきたい『ふるさと』の郷土料理があるんよ。」「最近はその料理も作らんようになったなあ。」「若い人に教えてあげたいんよ！」という要望をもとに、中学生や高校生、若い世代の人たちと一緒に伝統料理を伝承していく新たな企画を進めていきます！



◆ねらい

高齢化率の高い地域であり、各地域でサロンや健康教室が開かれるなど、狭い範囲での仲間づくりはあるが、広い範囲での仲間づくり、学び合いの場が少ない。

継続的な学び・集い・仲間づくりの場を提供することにより、高齢者が幅広い知識や教養を身に付け、また感性が磨かれることにより、地域の文化レベルの向上を図る。

◆内容



第 1 回

人生を豊かにする温泉の話

弁護士でもある”温泉博士”が、うそ偽りのない「真の温泉選び」を伝授しました。

第 3 回

人生の最終段階の意思決定 ～人生会議を考える～

万が一のときに備えて、自分のために、大切な家族のために、もしものことを話し合う「人生会議」について学びました。



第 6 回

脳卒中について

高齢者が注意したい脳卒中について、原因から治療、予防方法、認知症との関連などについて脳神経外科のエキスパートから解説いただきました。

◆講座を終えて

継続的な学び・集い・仲間づくりの場ができ、講義の内容に拘わらず20名程度の参加者が見込まれる講座となっている。

講座生を中心に研修視察も行ったが、お互いの交流を楽しみに参加する方も多い。

ワクワクスタディ!!

『互いに教え合い、学び合える地域を目指して』

岡山市立瀬戸公民館

◆ねらい（解決したい地域課題）

地域の児童・生徒が利用できる自習場所として、公民館ロビーを活用した自習室を設置したところ、児童の保護者から学習意欲の向上を図る取り組みや放課後に安全に過ごせる居場所づくりへの要望がなされた。

また、管内にある I P U・環太平洋大学より教育学部学生の資質向上を図ることと、地域の児童・生徒の学力向上支援に参画したいとの要望があったことから、この両者を結び付け、地域児童の学習意欲向上を図る機会と放課後の居場所づくり、さらに『地域の教育資源』（=次代を担う教育者）である学生の資質向上を同時に実現し、『地域の教育力』を総合的に向上させる契機として標記の事業を展開した。

◆活動の様子



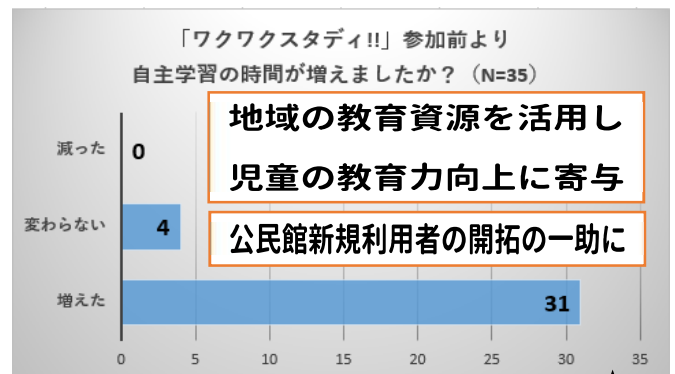
ウクライナ問題や郷土史など、子どもたちが学びたい内容をリサーチし、学生たちがカリキュラムを作成しました。カリキュラム作成には、地域防災会関係者などへの聞き取りも行いました。



授業の前後には「宿題タイム」を設け、子どもたちが持参した宿題などの自主学習を、学生たちがサポートしています。回を重ねるたびに、児童から自発的に質問がなされる回数も増えました。



毎週、定例ミーティングを開催し、公民館職員と学生、大学教職員が共同で授業内容を策定。福祉委員等地域団体の方々や行政職員からレクを受け、授業内容に活かすフィールドワークも同時に実施。



保護者へのアンケート結果では、平均して30分以上、多い児童では1時間半も自主学習の時間が増えたとの結果が出ています！自習利用者も増加し、公民館に子どもや若者の声がこだまします。

◆効果（保護者の声、参加児童の声、学生の声）

○おにいさんやおねえさんたちが優しくて、宿題も教えてくれた。【小学3年生の児童】

○歴史を学ぶのは難しいと思っていたけど、わかりやすく教えてもらえてうれしかった。【小学5年生の児童】

○新聞を見て、興味のある記事を自分で調べている姿に、子どもの成長を感じました。参加して家から帰るたびに、その日に学んだことを自分から話してくれるのも成長を感じる一面です。【小学4年生の保護者】

○カリキュラム作りの際、地域の方々にお会いし、実際に起きた災害についてのお話をいただいたことで、本番では子どもたちにしっかり説明ができた。自分たちにもよい学びとなった。【環太平洋大学の学生】

○後日、参加児童と街中で出会ったら笑顔で応じてくれたのがうれしかった。【環太平洋大学の学生】

くらしき市民講座 「赤ちゃんを迎えたら♪パパ・ママの ための子育てステップアップ講座」

◆ねらい（解決したい地域課題）

子育てにかかる負担をやわらげ、家庭や地域で安心とゆとりを持って、楽しく子育てができる社会の実現をめざす。出産から生後半年までの親子を対象としたこの講座で必要な基礎知識や楽しく育児するコツなどを学び、同じように奮闘して育児している親同士が悩みや思いを打ち明けることで安心とゆとりをもって育児に取り組めるようになることを目指す。

◆活動の様子（写真等も入れて）

「子育てを頑張っている人がこんなにいるんだと実感できた。」



夫婦と一緒に子育てについて
学べる時間をもてた。

赤ちゃんの発達についてと、
からだに触れる大切さを学びました。



講座が終わった後に、仲良くなった方が
連絡先を交換するなど、情報交換の場にも
なりました。



◆効果（参加者の声等）

「『早く!!』より普段の『積み重ね』が大事という言葉が印象に残りました。焦らずに子供の成長を見守りたいと思います。」「遊び道具を使わずに手を動かす遊びが脳に良い刺激があるんだなと思った。」「コロナにより保健所で行われるイベントが中止となり、子育てに不安な点があったので、参加できて良かった。」

◆ふりかえり

先輩ママの話や、同世代の子どもの成長について伝え合うなどして情報交換をしたり、不安を解消したりするためのきっかけづくりとすることができた。出産前の夫婦を対象とした、くらしき市民講座「これから出産を迎える人のためのパパママセミナー」と7か月頃の子どもと保護者を対象とした、くらしき市民講座「7か月からの 食べて、みがいて、遊んじゃおう!」の間の子育て世代を対象とした講座として今後も継続していきたい。

倉敷と鉄道

◆ねらい（解決したい地域課題）

地域の歴史や特色を学ぶ機会を設け、地域への興味や郷土愛を深めることをめざす。
単なる歴史講座ではなく、鉄道という切り口から地域の魅力を見直すきっかけとする。

◆活動の様子（写真等も入れて）

【第1回】山陽鉄道と伯備線

【第2回】未成線の夢

【第3回】瀬戸内海に向かった鉄道



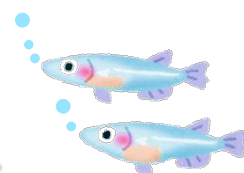
いま走っている鉄道の誕生秘話、過去に走っていた鉄道の鉄道遺産、計画だけで夢に終わった鉄道など、盛りだくさんの内容でした。



写真もまじえた講義に受講生は興味津々の様子。
メモを取りながら真剣に聞いています。

◆効果（参加者の声等）

「講座で紹介された鉄道遺産を訪ねてみたい」「鉄道に乗ってみようと思う」という声が多く聞かれたほか、中には「前回の講座の後に、実際に鉄道遺産に行ってみた」という受講生もいました。
この講座がきっかけとなり地元にあっても知らなかった、あるいは行ったことがなかった場所へ出向くなど、郷土への愛着と誇りを深め、新たな興味関心を掘り起こすことができたと感じられました。



◆ ねらい（解決したい地域課題）

地域の生活や歴史が生き物の環境を作っていることを知り、水の中に生息している多くの水生生物を実際に調査・採取することにより、親子で自然を大切に思う心を養うことをめざす。

◆ 活動の様子

第1部（座学） 船穂地区の自然環境の概要について水脈や歴史等を説明



小田川が高梁川に合流し、酒津配水池を通り、船穂地区に流れ込んでいることや、水生生物の特徴を解説しました。

ふなごうみんかん
船穂公民館



採集する時の注意点を聞いた後に、当日の池の深さを確認し、保護者が了解したうえで、池に入りました。

第2部（観察・採集） 公民館前の池に移動し、どのような水生生物がすんでいるのか池に入って調査・採集した後、講師から生き物について解説



生き物にとってすみやすい「環境づくり」が大切だとわかりました。



ニホンスッポン、ミナミメダカ、コイ、ヒメタニシ、ヤゴ、タナゴなど16種類の生き物を発見！

「この水草は、何かな？
あ！ここにコイがいるよ！」
在来種や外来種の生き物が
高梁川からこの池に移動して
来て、数日後には水の流れて
乗ってまた移動します。



卵を産むための
水草や石も必要だね。

◆ 講座を終えて（成果と課題や今後の見通し等）

公民館前にある池の水は高梁川が源流になっており、多くの水生生物がすんでいる。普段は「危ないから近づかないように」と言われている池の中に入れることもあり、多くの申し込みがありました。池の水がどこから流れて来ているのか知らない親子が多く、近隣の里山や川などを含めた自然の循環についても知る内容になりました。今後は講座を継続的に実施し生物の調査をすることで、生物が生きやすい自然環境を保つためにはどうしたら良いかを考える場になると期待しています。

オリジナル体操 『タマニサイズ』で 健康になろう！

概要

玉野市立中央公民館もグループの一員として参加する「インスタでつながる公民館」※1で、11月24日（木）に「オンラインご当地健康体操教室」を企画した。各地の公民館をzoomでつなぎ、お互いの地区の健康体操を紹介し合い、実践するというイベントである。

玉野市立中央公民館では、玉野オリジナル体操「タマニサイズ」※2を披露するため、「オリジナル体操『タマニサイズ』で健康になろう！」と題して参加者を募り、みんなで集まって練習を重ねた。本番でもみんな笑顔で体操し、楽しさを伝えた。

※1 インスタでつながる公民館とは？

写真・動画共有 SNS アプリ「Instagram」を運用している公民館同士の声掛けを機に、公民館職員同士の交流が始まった。今回のように遠く離れた公民館をオンラインでつなぎ、職員の情報交換や地域の人と一緒に「ご当地健康体操」のようなイベントをおこなっている。

※2 タマニサイズとは？

認知症予防の体操「コグニサイズ」をもとに、玉野の地踊り「かっからか」のリズムを加え楽しく全身の運動をおこなえる認知症予防の体操である。

2020年、コロナ禍を機に、倉敷ケーブルテレビの協力を得て玉野市長寿介護課・玉野市地域包括支援センター・玉野市民病院リハビリテーション科が共同で制作した。



☆間違えることは脳に良い刺激を与えているので、間違えても笑いながら体操を続けてください！



活動の様子

ねらい（解決したい地域課題）

新型コロナウイルスの流行以降、外出の機会やみんなで何かをする機会が減ってしまった。

大勢で集まることもまだ控えている中で、オンライン上で一緒に何かできる機会、新しいつながりを持てる機会として開催。

また、玉野オリジナル体操「タマニサイズ」を普及・活用することにより、運動不足解消と認知症予防も目的としている。

他の地域の体操も体験！



みんなで集まれる機会ができて嬉しい。

他の地域にもオリジナル体操があることを初めて知って感動した！

なかなか外出できない方もタマニサイズなら家で楽しく体を動かせる！

他の地域の方と交流が持てて新鮮だった！

楽しかった！

これからも参加してみたい！

参加者みんなで記念撮影♪



楽しく体操しているみんなに元気をもらえた！

玉野市立図書館・中央公民館 Instagram では動画付きで報告を上げています。



↑玉野市立図書館・中央公民館 Instagram

玉野市公式 YouTube では、「タマニサイズ」の動画を配信しています。



↑玉野市公式 YouTube チャンネル

笠岡市城見公民館

『イキイキ和み塾』

◆ねらい(解決したい地域課題)

笠岡市城見地区は、笠岡市の西部に位置し、古くから農産生産に従事していた。隣県の福山経済圏の影響もあり、新しい産業・工業の発展の様相も呈しています。

城見地区内には4地域があり、それぞれ違った風情を示しています。各地区の活動も盛んになってきているが、この「和み塾」で学んだ財が各地域に広がってほしい。

◆活動の様子(写真も入れて)

4月<脳トレ遊び><歌声喫茶>

地域サロン・集会で役立つ「脳トレ遊び」「歌声喫茶」は、生きる力・再生の力があります。みんなのやる気が伝わってきます。



5月<ポッチャ体験>

あのパラリンピックの「ポッチャ」

集中力・作戦脳の育成～楽しかった、町内の集会所に広がり、みんなのニューススポーツになりました。



7月

<ニューススポーツ・ユニカール>

誰でもできるユニバーサル・カーリング！講座のあと「自分も普及指導員の資格をとろう」という事！！他地区に出前指導をおこなうようになりました。



10月<マンカラで脳トレ>

自然の中で遊びながら考案された「マンカラ」。つかんだ手の中から順に1個ずつ落としていき、脳への刺激となり、誰でもでき、高齢者サロン等で活用！！

11月<命・人権・仲間について>

映画「十五才」視聴

不登校の中学生が、屋久島の大杉を目指して旅に出る。途中に出会った大人とのかわいさで、自分を見つめなおせた。

12月…神楽映画 1月…子どもと昔遊び 2月…歌声(手話ソング)

◆効果(参加者の声等)

今年度は、特に「脳トレ遊び」や「ニューススポーツ」の普及をめざして、イキイキ和み塾を開設しました。「脳トレ遊び」では、メモを取る仲間も増え、「私達の地域 100 歳体操・サロンでもやってみようよ」とか、「自信をもってやれるよう練習したい」などの声も聞こえてきました。

また、ニューススポーツの「ポッチャ」や「ユニカール」の出前指導の声がかかるようになり、他公民館や地域団体へ出かけています。出かける仲間の生き生きとした表情！！これこそ、まさに「イキイキ和み塾」。

防災教室

◇ねらい◇

いつ・どこで・どんな災害が起こるかわかりません。地域の方の防災への備え・知識の蓄積になることを目的とし、内容を変えながら、令和3年度より年3回の開催を予定して活動しています。

第1回

「心肺蘇生」について

笠岡消防署 北出張所より講師をお招きし、実習を交えながら学びました。

胸骨圧迫



AED



通報訓練



第2回

「マイ・タイムラインの作り方」について

国土交通省 中国地方整備局

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所より講師をお招きし、「マイ・タイムラインの作り方」そのための情報の集め方について勉強しました。

川の防災情報

おすすめ！

「川の防災情報」で検索
(<https://www.river.go.jp>)



水位観測所、ライブカメラ、レーダー雨量、浸水想定区域図など、防災に関する様々な情報が集約されています！

第3回

「非常時持ち出し品・非常食

ベッド・パーティションの組み立て」について

笠岡市危機管理課より講師をお招きし、2月に開催予定です。この写真は、昨年度同じ内容で開催した時のものです。避難の際に必要なもの、また、避難所でこういった手続きや作業があるのかを、実践しながら学びます。地域の方から「忘れそうだから、またやりたい」とリクエストをいただきました。

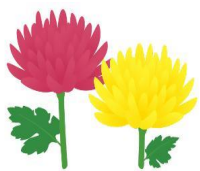
◇効果◇

防災教室で教えていただいている中で、参加者の皆さんから「こんな場合はどうしたらいいの?」「こういうことも考えられるね!」等さまざまな意見がありました。やりとりの中で交流もでき、知識も得られるよい機会になっているのではないのでしょうか。

今後も地域の皆さまの要望を取り入れながら、開催していく予定です。

こめっち





菊づくり講座

稲倉公民館

◆解決したい地域課題

地区民のつながりと、自然環境美化意識の強化

◆実現させたい地域の夢

地区民の笑顔があふれ、支え合い、誰もが楽しい日々を過ごせる地域

第1回

4月

井原市文化協会 菊・さつき部から2名の先生をお迎えして、開花までの一連の菊づくりについて学びました。
その後差し芽体験をし、各自持ち帰りました。



第2回

7月



受講申込者
20名

井原市文化協会 菊・さつき部から3名の先生をお迎えして、9号鉢に移植し、支柱にそわせての茎の伸ばし方、虫や病気の予防、肥料、輪台の付け方を学びました。



公民館ミニミニ菊花展

第3回

11月

井原市菊花展



◆講座を終えて（参加者の声）

- ・家に持ち帰ってからの管理が難しかった。
- ・残念ながら全部枯れてしまった。来年は頑張る！
- ・きれいに咲かせることが出来て、皆に褒めてもらいうれしかった。
- ・市の菊花展に自分の町の公民館の名前があり、うれしかった。



井原市県主公民館

グラウンド・ゴルフ大会

◆ねらい（解決したい地域課題）

誰でも気軽に楽しめるこの協議を通して、地域や世代間の交流と健康づくりを進めるために、生涯スポーツ活動の一環としてグラウンド・ゴルフに親しむ機会を作る。

◆活動の様子



恒例の選手宣誓、 子どもの方が立派

同好会のみなさん（子どもたちにとっては、おじいちゃん・おばあちゃん世代）にいろいろと教えてもらいながらプレイして、どんどんお互いの距離が近づき、会話もはずみました！！

子どもたちと親世代、おじい ちゃん・おばあちゃん世代が同 じ組でプレイ



コロナ禍でも、屋外だし、マスクをしたままプレイできるので心配ご無用。



賞品も楽しみ！



◆効果（参加者の声等）

「グラウンド・ゴルフは初めての体験だったけど、こんなに楽しい競技とは思いませんでした。天候も良く、みんなで楽しめました。おかあさんと同じ組でしたが、勝負にこだわって、大人気ないなと思いました。ベテランの方々はとても優しく教えてくれました。道で会ったら、もっといっぱいあいさつをしたり、お話をしたりしたいです。

子どもたちだけでなく、お母さん方もベテランの方々にもいろいろと教わってプレイしている姿が見られました。今年で12回目、毎年恒例になっていて、この講座をきっかけに三世代間の交流の輪が広がり、地域の健康づくりに役立っています。

青少年育成

荏原新九郎太鼓

◆ねらい

北条早雲を顕彰し「和太鼓の伝承・普及」と子供たちの健全育成・地域活性化に寄与することをねらいとして結成。平成21年11月に元荏原公民館長と公民館を母体とする皆様に協力・支援を受けながら北条早雲の幼名を戴き「童チーム・荏原新九郎太鼓」として活動を展開。学校での練習は毎週水曜日に実施。先輩格の「井原早雲太鼓」の指導のもと「太鼓音楽の技術の向上」を図り練習に取り組んでいます。

◆活動の様子

日頃の練習は基礎練習20分、太鼓別の練習と本練習に分けながら行います。楽譜を確認しつつ慣れない子はなかなか大変みたい。

「みんなでがんばろう、打てるまで!!」



将来、早雲太鼓として活躍



初日の出に行われる高越城址での初打ち

◆効果

童チーム・荏原新九郎太鼓は結成後13年が経過しました。「和太鼓の伝承と普及活動」については一応の成果（現在の太鼓経験者延べ人数170人超）を得ました。

「児童の健全育成」については太鼓音楽の技術向上と「あいさつ・がんばり・活動的」を目標に活動し、イベントでの子どもたちの演奏は好評を得ており、子供たち自身が達成感を味わうことができると同時に、地域活性化に大きく貢献していると確信しています。今後も井原早雲太鼓と共に多くのイベントに参加することを目指して、日々邁進してまいります。

井原市立出部公民館



おやつクラブ

どんなもの？



出部地区の子や孫にかかわる全ての人を対象にした、おやつ作り教室
ふらっと立ち寄りその日の子どものおやつを作ります。
子どもの年齢は問いません。80歳のお母さんが50歳の息子におやつを作って
帰ったっていい。
学校に行きにくい子がいれば公民館に来たっていい。
料理をしながらおしゃべりを楽しむもよし、没頭もよし。
スッキリして帰り家族とおやつの時間を楽しむまでが「おやつクラブ」

きっかけとねらい

コロナ禍により、また働くお母さんの増加に伴い会員数の減少
小さな子供を育てる者の横のつながりがなくなり、希薄化と孤立化が懸念された。

またコロナ禍によりさらにわかりにくくなった引きこもり問題や子供の貧困のさなかにいる
人がいれば何かの良いきっかけになればと考えた。
親子での話題作りや保護者のストレス軽減をねらう。

活動内容

10時から13時までの間の好きな時間に立ち寄り、30分程度で作れるおやつを
作り持ち帰る。おやつは帰宅した子どもと食べる。
(コロナ禍で何年も子連れの調理や飲食のイベントが中止になっているが、
参加者が分散されるため込み合うことはなく、適度な距離を保てる。)

活動の様子



ねずみのおまんじゅう



夏休み中は親子での参加も♪



もちもちクリームどら焼き



参加者の声

「またがんばれそう。」
「最近はこういう行事が無くなっていたので嬉しい。」
など



昭和寺子屋（宿題編・感想文編）

昭和地区は市街地から離れており、小中学生のための徒歩圏内での学びの場がほとんどない。また、地域行事などをとおしての住民とのコミュニケーションも希薄である。そこで、自宅での学びが中心となる夏季休業中に、学びと交流をテーマにした昭和寺子屋を企画し、地域の方が指導者としてかわることで、子供たちが学びを深め、地域の魅力に気づくためのきっかけづくりをする。



参加児童は、必要に応じて個別支援を受けながら、夏ドリルや復習プリントを中心とした学習に取り組みました。



感想文の基本的な書き方を学ぶ子供たち。資料やワークシートは、書き込みで埋め尽くされました。きっと中身の濃い感想文を仕上げたことでしょう。

自主講座生の演奏するオカリーナに合わせて、トーンチャイムでリズムをとる体験をしました。



義民の実話など、講師が自作した本を演劇風に読み聞かせました。2日間で4冊を楽しみました。

＜成果と課題＞ 宿題編は4回連続講座、感想文編は3回講座とし、地元の支援者による個別の支援や体験学習、読み聞かせ等を行いました。子供たちにとって、本講座は、地域の力を実感し、魅力を感じるよい機会であったようです。来年は、中学生も参加できる夏季講座を編成したいと考えています。

花の話をもち寄っ

Bringing your flower tales

田舎の地域資源でもある草木や花々、人々の豊かな人生経験の活用。花に関するエピソードを元に人々の心の交流を図り、生活や地域を元気にする。

西鶴山公民館には、日々たくさんの方々が花を持って来てくださっています。

ご自宅の庭に咲いている百日草。田畑の畔に咲いている花菖蒲。

丹精込めて育てた大輪の薔薇。山のふもとに咲く紫陽花。

「せっかく綺麗に咲いているのを見る人が少ないから」

「珍しいから他の人にも見てもらいたい」

いただいて館内に生けた花は、季節の喜びを伝え、ささやかな会話を生み、心の交流を生んでいます。

そこで、そんな公民館の日常を一つの主催事業にしたいと思いました。

人生の花にまつわる思い出や、栽培の苦労話、植物に関する知識などを

持ち寄り、車座になって、ひとり最大7分以内で話をしていく。

植物がくれる喜びを、皆さんとシェアしてみようという試みです。

会場は持ち寄った花たちでいっぱい

講座の様子

参加者 話し手10名 聴き手8名

参加者最高齢者はなんと97歳。花について詠んだ「俳句」を披露されました。

開催の効果

会場の大型テレビに映し出される画像をもとに、話し手がそれぞれの「花の話」を語っていきました。

始まるまでは人前で話すことに抵抗があった方も、ご自身で準備した花の画像がテレビに映し出されると、目を輝かせて生き生きと「花の話」を披露されました。話のひとつひとつにドラマがあり、クスッと笑えたり、驚いたり、感動したり、勉強になることもたくさんありました。

参加者からは「素敵な時間だった」「花を通してたくさんの人と交流することができた」「育て方や珍しい花のことなども知ることができた」などの感想をいただき、第2回、第3回を望む声が出てきています。講座終了後も、会場は「花の情報交換の場」として、盛り上がっていました。花を通じて今日まで知らなかった人同士がコミュニケーションをとり、笑顔が溢れ、わずかな時間でしたが、日常を忘れてリフレッシュされた様子でした。また、地域の良さを知り公民館を身近に感じる良い機会になったようです。